



UDP の生成

すべての IP Phone ユーザに対するプロファイルを生成して挿入することによって、Cisco Unified Communications Manager 一括管理 (BAT) を使用してエクステンション モビリティを迅速にセットアップできます。BAT は、ユーザが制御するデバイス数に関係なく、すべての電話機に対してユーザ デバイス プロファイルを生成します。たとえば、ユーザが 2 つのデバイスを制御している場合、BAT は 2 つの異なるユーザ デバイス プロファイル (各デバイスに対して 1 つずつ) を生成し、それらのユーザ デバイス プロファイルを同じユーザに関連付けます。BAT は生成されたユーザ デバイス プロファイルの 1 つをユーザのデフォルト ユーザ デバイス プロファイルとして設定します。BAT は各電話機モデル用の電話機ボタン テンプレートに基づいて、すべての IP Phone 用のユーザ デバイス プロファイルを生成します。



(注)

このアクションの実行には、ユーザ デバイス プロファイル テンプレートも CSV データ ファイルも使用しません。これらのユーザ デバイス プロファイルは、BAT によって生成されたとき、ユーザに関連付けられます。

ユーザ デバイス用のユーザ デバイス プロファイルの挿入

すべてのユーザ用のユーザ デバイス プロファイルを生成する手順は、次のとおりです。

手順

- ステップ 1** [一括管理 (Bulk Administration)] > [ユーザデバイスプロファイル (User Device Profiles)] > [UDP の挿入 (Insert User Device Profiles)] の順に選択します。[ユーザデバイスプロファイルの挿入 (Insert User Device Profiles Configuration)] ウィンドウが表示されます。
- ステップ 2** [ユーザデバイスプロファイルの固有の詳細の挿入 (Insert User Device Profiles Specific Details)] オプション ボタンをクリックし、カスタマイズされたファイル形式を使用する UDP レコードを挿入します。ステップ 4 と 5 に進みます。
- ステップ 3** [ユーザデバイスプロファイルのすべての詳細の挿入 (Insert User Device Profiles All Details)] オプション ボタンをクリックし、[すべての詳細 (All Details)] オプションを使用して作成したエクスポート済み UDP ファイルの UDP レコードを挿入します。
- ステップ 4** [ファイル名 (File Name)] ドロップダウン リスト ボックスで、この固有のバルク トランザクション用に作成した CSV データ ファイルを選択します。
- ステップ 5** [ユーザデバイスプロファイルの固有の詳細の挿入 (Insert User Device Profiles Specific Details)] オプションを選択する場合は、[ユーザデバイスプロファイルテンプレート名 (User Device Profiles Template Name)] ドロップダウン リスト ボックスで、このタイプのバルク トランザクション用に作成した BAT 電話機テンプレートを選択します。



(注) エクスポート ユーティリティを使用して生成したファイルを挿入する場合は、ファイルに付加されているサフィックスを参照すると、適切な回線設定とともに電話機テンプレートを選択できます。エクスポート ユーティリティは、電話機に対して設定される回線ごとに、数字のサフィックス `_n` を付加します。たとえば、「sales_7960_1_3.txt」という名前のエクスポート ファイルは、このファイル内のすべての電話機レコードに対して、回線 1 と回線 3 が設定されることを示しています。

CSV データ ファイルに個々の MAC アドレスを入力しなかった場合は、[ダミー MAC アドレスの作成 (Create Dummy MAC Address、CTI ポートの場合は、ダミーデバイス名の作成)] チェック ボックスをオンにする必要があります。CTI ポートを追加する場合、ダミー MAC アドレス オプションを使用すると、ダミー MAC アドレスの形式で、CTI ポートごとに固有のデバイス名が指定されます。

このフィールドは、XXXXXXXXXXXX という形式でダミー MAC アドレスを自動生成します。X は任意の 12 文字の 16 進数 (0 ~ 9 および A ~ F) を表します。

- ユーザに割り当てられる電話機の MAC アドレスがわからない場合に、このオプションを選択します。電話機が接続されると、そのデバイスに対する MAC アドレスが登録されます。
- データ入力ファイルに MAC アドレスまたはデバイス名を指定した場合は、このオプションを選択しないでください。

Cisco Unified Communications Manager の管理ページにこの情報を手作業で入力するか、または、Unified CM Auto-Register Phone Tool を使用すると、後で、電話機またはデバイスを正しい MAC アドレスで更新できます。Unified CM Auto-Register Phone Tool の詳細については、P.64-2 の「TAPS の概要」を参照してください。ステップ 8 に進みます。



(注) テンプレート内にある既存の電話機の設定値を変更する場合は、**[既存の設定の上書き (Override the existing configuration)]** チェックボックスをオンにします。このチェックボックスをオンにすると、ユーザ デバイス プロファイル情報も更新されます。



(注) ユーザの現在の IP Phone に基づいて、すべての電話機に対してユーザ デバイス プロファイル レコードを生成して挿入するには、**[ユーザが制御するデバイスを使用 (Based on devices controlled by users)]** オプション ボタンを選択します。



(注) 生成済みのユーザ デバイス プロファイルをデバイスのログアウト プロファイルとして使用する場合は、**[ユーザ デバイス プロファイルをデバイスのログアウト プロファイルとして設定 (Set User Device Profile as Log Out Profile for the device)]** チェックボックスをオンにします。

ステップ 6 [ジョブ情報 (Job Information)] 領域に、ジョブの説明を入力します。

ステップ 7 [今すぐ実行 (Run Immediately)] オプション ボタンをクリックして UDP レコードを即座に挿入するか、[後で実行 (Run Later)] をクリックして後で挿入します。

ステップ 8 [送信 (Submit)] をクリックして、電話機レコードを挿入するジョブを作成します。

ステップ 9 [一括管理 (Bulk Administration)] メイン メニューの [ジョブスケジューラ (Job Scheduler)] オプションを使用して、このジョブのスケジュールやアクティブ化を行います。

ジョブの詳細については、[第 66 章「ジョブのスケジュール」](#) を参照してください。

ログ ファイルの詳細については、[P.67-4 の「BAT ログ ファイル」](#) を参照してください。



(注) レコードの情報に何らかの問題がある場合、BAT はユーザ デバイス プロファイル レコードを挿入しません。

その他の項目

詳細については、[P.39-4 の「関連項目」](#) を参照してください。

関連項目

- [ユーザ デバイス用のユーザ デバイス プロファイルの挿入 \(P.39-2\)](#)
- [ジョブのスケジュール \(P.66-1\)](#)
- [TAPS の概要 \(P.64-2\)](#)
- [BAT ログ ファイル \(P.67-4\)](#)